令和６年度　調布市立北ノ台小学校　授業改善推進プラン

様式１－１

|  |  |
| --- | --- |
| 学校の教育目標 | |
| ◎思いやりのある子ども ○よく考える子ども ○明るく元気な子ども | |
| 目指す学校像（ビジョン）　例）学校像，教員像，児童・生徒像 | |
| 目指す学校像 【子どもたち一人一人を大切にする学校】   1. 児童にとって　 「よろこびのある毎日が送れる学校」   ・友達と関わることのできるよろこび　　・学んで分かるよろこび　　・心を解放して体を動かすよろこび  ・自分の存在が認められるよろこび　　・自分の成長が実感できるよろこび  ・自分の将来に希望がもてるよろこび   1. 保護者，地域にとって 　「安心して任せられるみんなの学校」   ・開かれた学校（教育活動の積極的な発信） 　・安心できる学校（チームで迅速，誠実な対応）  ・私たちの学校（協働，連携）   1. 教職員にとって　「自己実現できる職場」   ・風通しのよい明るい職場　　・やりたいことができる職場　　・成長できる職場 | |
| ビジョンの設定理由  （本校の現状と課題） | 〇児童は素直で真面目であるが，全体的におとなしく控えめで自己肯定感が低い児童が多い。児童が自分のよさに気付き，自分のよさを生かすことのできるよう環境を整え，児童が自ら考え，主体的に活動する学校にすることが課題である。  ○個別の支援を必要とする児童が一定数いる。また，不登校及び不登校傾向のある児童が多い。校内委員会，不登校対策委員会の定期的な開催やSC，関係機関と連携した組織的な対応を進めることが課題である。  ○学習指導要領や新たな教育課題への対応がまだ十分とは言えない。校内研究やOJTを通して，教員の指導力を向上させることが課題である。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教科 | 目指す学校像（ビジョン）を基にした  育成したい資質・能力 | 資質・能力を育成するための具体的取組 |
| 国語 | ・日常生活に必要な語彙について，その意  味や特質を理解し適切に使う力。  ・叙述から想像し，思考し，自分の言葉で  表現し、伝え合う力。  ・言葉がもつよさを認識するとともに，言語  感覚を養い，自分の生活に生かそうとする  力。 | ・ICTや辞典を活用して，調べる活動を充実させる。読むことや書  くことの学習の中でも,言葉に着目し，広く深く考えさせる。  ・一人一人が自分の考えをもてる指導計画を立てる。個人，小グ  ループ,全体による話合い活動を工夫して取り入れる。  ・授業を通して身に付いたことや学びがどのように生かせるかな  ど，自分の学習状況の振り返りを充実させる。 |
| 社会 | ・必要な情報を集め，情報や資料を読み取  り，問題解決に向けてまとめる力。  ・根拠や理由を明らかにして考えたことを説  明したり，資料などを用いて作品や図表に  まとめたりする力。  ・主体的に学習問題を解決し，学習内容を  生活に生かそうとする態度。 | ・調査活動や諸資料を使って情報を調べたり，読み取ったり，まと  めたりする活動を取り入れる。  ・自分の考えをノートにまとめたり，説明したりする活動を充実さ  せる。また，複数の資料を比較して考える問題を取り扱う。  ・日常生活に関連した資料を提示し，児童の疑問や問いから学習  問題を設定する。 |
| 算数 | ・数量や図形についての概念や性質を理解  し，確かな知識・技能を習得する力。  ・筋道を立てて考察し，数学的な表現を用  いて順序良く表現する力。  ・数学的活動の楽しさに気付き，学んだこと  を生活に活用しようとする態度。 | ・計算のきまりや作図の手順，立式の根拠を説明させるなど，習  得した知識・技能を活用する機会を増やす。  ・問題の種類に応じて図に表したり，互いの考えを説明し合ったり  して問題解決の糸口を見付けさせる。  ・数や量の大きさを実測する体験活動や日常生活に結び付いた  問題を多く設定する。 |
| 理科 | ・自然の事物・現象の性質，規則性の把握  及び器具，観察・実験の適切な処理を行う  力。  ・課題作り・自然事象に対する疑問や問題  を見出す力，予想，仮説，解決策の発想，  結果の解釈，結論の妥当性の判断をする  力。  ・自然や生命に親しむ態度。自分の考えに  おける妥当性を検討し，学びを日常生活  に生かす態度。 | ・単元の性質に応じ，ICT等を活用しながら，自然事象を量的・  関係的視点，時間的・空間的視点,質的・実体的視点などで捉  えていくように系統的指導を行う。  ・条件制御，推論，比較・関係付け，因果関係，連続性，多様性な  ど，どの理科の見方・考え方を，どの単元で働かせていくのか  見通した学習計画を立てる。  ・粘り強く考える,他者と学び合う，学んだことを生活に生かす,  生命について考える時間を計画的に設定する。 |
| 生活 | ・自分自身，身近な人々，自然の特徴や関わりに気付き，生活に必要なことを身に付ける力。  ・身近な人々，自然との関わりを意識し，生  活について考え，表現する力。  ・身近な人々や自然に関わり，意欲をもって  生活を豊かにしようとする態度。 | ・同じ事象と繰り返し関わる場を設定し，児童が試行錯誤するこ  とを通して，生活に必要なことを気付かせる。  ・自分の考えを言葉や絵で分かりやすく表現し，互いに伝え合う  活動を多く設定する。  ・実際に動物や植物に触れ合ったり，地域の人々と交流したり，体  験活動を多く取り入れる。 |
| 音楽 | ・曲想を活かしながら,工夫して演奏したり  表現したりする力  ・曲の良さを自ら見つけたり,創造力を活か  して表現したりする力  ・音楽と関わる楽しさを感じ,他者と協同し  ながら音楽活動に参加する態度 | ・ICT機器を活用し,段階に応じたパートを選択させ,個々のレベ  ルに応じた教具を選べるように促す。  ・様々な楽器や編成の音楽を取り入れ,曲想や音色の良さをその  都度自分の言葉や演奏で表現させる。  ・他者と演奏したり考えを伝え合ったりする時間を設け,音楽を楽しむ主体性を養う。 |
| 図画工作 | ・自ら創造的につくったり，工夫したりして表  現する力  ・創造的に発想，構想し,自分の見方や考え  方をより深める力  ・つくり出す喜びを味わい，楽しく豊かな生  活を想像しようとする態度 | ・造形的な見方について,自分の感覚や行為を通して理解さ  せ,材料や用具を選択し活用させる。  ・ICTを活用し,造形的なよさや美しさについて効果的にイメ  ージをもたせる。  ・主体的に表現したり,観賞したりする題材を児童の実態に  応じて設定する。 |
| 家庭 | ・日常生活に必要な家族や家庭，衣食住，  消費や環境について理解し，それらに関わ  る技能を身に付ける力。  ・日常生活から課題を設定し，解決方法を  考え，表現するなどして，課題を解決する  力。  ・生活の営みの大切さに気付き，家庭生活  をよりよくしようと工夫する態度。 | ・体験活動を増やし，ICTを活用することで，生活に必要な知識  や技能を確実に習得させる。  ・課題調べやトライカードなど家庭との連携をとり，自分の家庭や  自分自身の問題点に気付き，それらを交流することで，解決する  方法を自ら考えられるようにする。  ・問題解決の学習過程を通して，課題を解決できた達成感や喜  びをもたせることで，さらによくしていこうと工夫，実践させてい  く。 |
| 体育 | ・各種の運動の行い方や健康・安全につい  て理解し，動きや技能を身に付ける力。  ・自己の課題を見付け，思考し判断するとと  もに他者に伝える力。  ・運動に親しみ，健康の保持増進と体力向  上を目指し，楽しく明るい生活を営む態  度。 | ・友達と見合うことやICT機器の活用を通して，自分の動きを客  観的に確認して修正できるようにする。また，健康な生活など日  常生活に関連した学習課題を設定し，課題解決に役立つ保健  領域の主要な概念を習得させる。  ・課題解決のための時間や場，補助具などを用意し，児童同士が  試行錯誤しながら課題解決できるようにする。  ・技能差に関わらず，全ての児童が活躍できるように教材を工夫  し，一人一人が運動することの楽しさや喜びを味わうことができ  るようにする。 |
| 外国語 | ・外国語の音声や文字について，日本語と  の違いに気付き，実際に活用する力。  ・コミュニケーションを行う目的や場面，状  況などに応じて，自分の考えや気持ちなど  を伝え合う力。  ・他者に配慮しながら，主体的に外国語を  用いてコミュニケーションを図ろうとする  態度。 | ・ＡLＴ，ＩＣＴ,音声教材等を活用して，体験的に言語や文化につ  いての理解を深めることができるようにする。デジタル教科書を  活用する時間を設け,個別最適な学びができるようにする。  ・授業の流れを明示したりワークシートを作成したりして，活動の  「目的，場面，状況」を明確に提示することで，児童が思考を働  かせながら，自分の考えや気持ちを伝え合えられるようにする。  ・毎時間ねらいを示し，振り返りを行うことで，自ら達成感を味わ  ったり，学びを調整したりできるようにする。 |
| 道徳科 | ・道徳的諸価値について理解し，自己を見  つめる力。  ・他者と対話したり協働したりしながら物事  を多面的・多角的に考える力。  ・自分の経験や感じ方と照らし合わせなが  ら，考えを深めようとする態度。 | ・導入や教材提示を工夫し，道徳的諸価値を自分事として捉えら  れるようにする。  ・話合い活動を充実させ，様々な考えに触れる時間を設ける。  ・振り返りの時間を設定し，これまでの自分や今後の自分につい  て考えられるようにする。 |
| 外国語活動 | ・相手と主体的にコミュニケーションを図る  ことの楽しさを知り，日本と外国の言語や  文化について理解する力。  ・身近で簡単な事柄について，外国語で聞  いたり話したりして自分の考えや気持ちな  どを伝え合う力。  ・外国語を通して，言語やその背景にある文  化に対する理解を深め，主体的に外国語  を用いてコミュニケーションを図ろうとする  態度。 | ・ＡLＴ，ＩＣＴ,音声教材等を活用して，体験的に言語や文化につ  いての理解を深めることができるようにする。  ・授業の流れを明示したりワークシートを作成したりして，活動の  「目的，場面，状況」を明確に提示することで，児童が思考を働  かせながら，自分の考えや気持ちなどを伝え合えるようにする。  ・ＡLＴとの1対1の会話や，友達同士のやりとり、教え合いなど，  学習形態を工夫することで，児童が達成感を味わったり，学び  を調整したりできるようにする。 |